



東久留米市
HIGASHIKURUME CITY

Press Release No.18

東久留米市 企画経営室 秘書広報課（計：2枚）

令和7年6月26日

報道機関 各位

「第29回環境フェスティバル」を開催しました



6月7日（土）、8日（日）の2日間、市民プラザ・屋外ひろば・落合川いこの水辺を会場として、「環境フェスティバル」が開催されました（主催：東久留米市環境フェスティバル実行委員会と東久留米市）。

環境フェスティバルは、こどもから大人まで、さまざまな体験を通じて「環境について学び、活動につなげる」ことを目標として、環境月間である6月に開催しているイベントです。

【当日の様子】

今回は市内出身アーティストの大小島真木氏の作品展示と講演会や、市内在住の落語家 立川志獅丸師匠による落語など、今までにないイベントが盛りだくさんでした。

大小島真木氏による講演では、南沢氷川神社に御奉納いただいた天井画の画像や、東久留米の環境を描いた作品を実際に見ながら、制作の意図や作品に込められた思いなどを語っていただきました。多くの自然環境に触れ、何を感じ、どう作品に描いてきたか。大小島氏ともに、自然・生物・その中に生き



大小島真木氏



東久留米市
HIGASHIKURUME CITY

Press Release No.18

東久留米市 企画経営室 秘書広報課（計：2枚）

令和7年6月26日

る私たちを「想像する」時間となり、東久留米で生まれ育ち、当たり前のように触れ合ってきた「湧水」が、素晴らしく尊いものであると実感することができた講演でした。

立川志獅丸師匠の落語は、「環境」を題材とした落語を演じていただきました。深刻な海の問題を「笑い」で伝えてもらい、面白がりながら自然と興味を持つことができました。会場名が笑いに包まれ、帰るときには海の問題を「自分ごと」として考えられる、大人からこどもまで楽しめる演目でした。



立川志獅丸師匠

その他にも体験型イベントブースが数多くあり、「トムソーヤの川下り」、「ノコギリ体験」や「木の実づくり人形」、「しじみストラップづくり」、自分が市長になったつもりでまちを考える「SDGs カードゲーム」、会場内の展示パネルを見て謎を解く「謎解きクロスワード」など、大人からこどもまで熱中する様子が見られました。



イベントブースの様子

第29回環境フェスティバルは、2日間で延べ2,400人ほどの来場者を迎え、大盛況で終えることができました。

【実行委員長・桂 知世さんのコメント】

「たくさんの方にご来場いただき、第29回の環境フェスティバルを無事に終えることができました。生命を育む水が湧き出る東久留米。この素晴らしい環境を未来へ残していきたいというたくさんの想いが集まり、つながって、【みんなで創るみんなの未来】という大きな、あたたかいメッセージとなって来場者の皆さまにお届けすることができたと思っています。当日まで、たくさんの方にご尽力いただきました事を心より感謝申し上げます」

■問い合わせ先

環境政策課長・浅海 電話042・470・7753